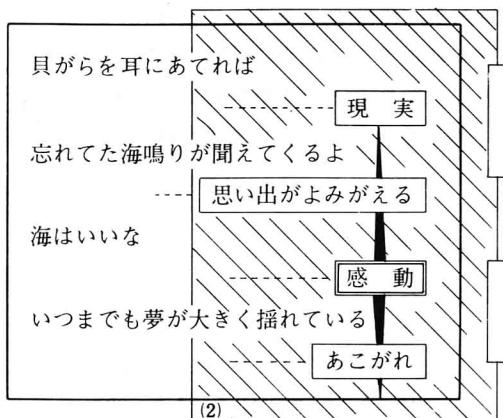
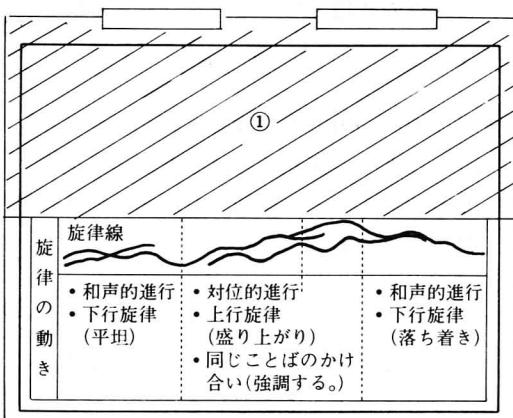


TP1-1



TP2-1



TP2-2

|                   |                        |  |                         |                         |
|-------------------|------------------------|--|-------------------------|-------------------------|
| 詩<br>の<br>区<br>分  | 貝がらを耳にあてれば             | 忘れてた海鳴りが聞えてくるよ                                   | 海はいいな                   | いつまでも夢が大きく揺れている         |
|                   | 現 実                    | 思い出がよみがえる  | 感 動                     | あこがれ                    |
| 旋律<br>の<br>動<br>き | 旋律線                    |  |                         |                         |
|                   | • 和声的進行<br>• 下行旋律 (平坦) | • 対位的進行<br>• 上行旋律 (盛り上がり)<br>• 同じことばのかけ合い (強調する) | • 和声的進行<br>• 上行旋律 (落着き) | • 和声的進行<br>• 下行旋律 (落着き) |

動しているところと前後の関係はどうか。

- 歌う → 感想 → 歌うのサイクルで音楽づくりをし、生徒が表現したい考えを実音化する。
- (TP1-1にTP1-2を重ね合わせる。)  
詩の内容や詩の山などを整理し、作者の気持になって歌わせる。
- 楽曲の構成を調べる。(教科書)
  - 和声的進行 対位的進行 和声的進行で構成されていることに気づかせる。
- 楽曲を分析する。
  - 中間部がなぜ対位的に作られているか。  
どのように歌えばよいかなど考えさせながら歌わせる。
  - 和声的な音楽と対位的な音楽の特徴を簡単に説明して、表現に生かされるようにする。
  - 楽曲の盛り上がりには、旋律にどのような特徴があるか、旋律の上行進行に気づかせる。
  - 楽曲構成のまとめ TP2-1
- 楽曲の構成と歌詞の内容を比較する。  
(TP2の①を取りのぞく)

- 歌詞の内容と旋律の動きを理解して表現に生かす。

- 歌詞の内容から発声や発音、音色まで考えて表現できるようにする。
- 楽曲の構成や歌詞の内容から、強弱などの音量感を考え表現できるようにする。
- 合唱を録音・再生して感想を述べ合い、よい演奏ができるようにする。
- 仕上げの合唱をする。

### (3) 鑑賞の指導

鑑賞の指導には、次の三つの領域が考えられる。

- ア. 情緒反応的な聴取～興味・関心をもって聴く。
- イ. 音楽的理解～音楽の構成要素(なりたち、くみたて) = リズム・旋律・和声・音色など